

## 国立大学法人広島大学とのTown & Gown構想の推進について

### 1 背景と目的

本市と国立大学法人広島大学（以下「広島大学」といいます。）とは、相互に連携・協力をし、地域の目標の実現及び地域全体の教育・学術研究機能の向上を図るとともに、地域の活性化及び人材の育成に寄与することを目的として、平成18年1月に「包括的連携協力に関する協定」を締結し、産業、教育・文化の振興、住民福祉の増進等の様々な分野において連携した取組を進めてきました。

現在、広島大学においては、大学と自治体（地域）が一体となって、組織間で柔軟に人材や情報などを共有しながら地域課題に取り組むことで、ともに発展を続ける仕組みであるTown & Gown構想（※）を推進しています。

本市においても、本市が有する豊かな地域資源と、広島大学が有する教育・研究人材や知識等の資源を融合させることにより、新たな人材を呼び込み、海洋・海事等に係る教育や産業、デジタル等の分野での先進的な取組を行い、本市の持続的な発展を目指すため、この度、広島大学と連携してTown & Gown構想を推進していくこととします。

#### ※ 広島大学が進めるTown & Gown構想

日本を地域から躍動させるため、大学と大学が立地する地域の自治体が持続可能な未来のビジョンを共有し、包括的・日常的・継続的・組織的な関係を構築の上、自治体の行政資源と大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで、地域課題の解決に資する科学技術イノベーションの社会実装と人材育成のための地域共創の場の形成を通じて地方創生を実現し、持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す構想

広島大学は、先進的な取組として、令和3年10月に東広島市と共同で「Town & Gown Office」を設置してこの取組を進めています。

### 2 取組事項案

本市が有する地域資源を生かして、次の事項について連携した取組を推進していきます。

- (1) 海洋・海事教育等に係る国際的な教育・研究の拠点形成及び人材育成に関すること。
- (2) 先進技術を活用した海洋・海事に関するデジタルトランスフォーメーション（DX）やグリーントランスフォーメーション（GX）の推進に関すること。
- (3) その他、海洋・海事教育等の取組に伴う瀬戸内地域の活性化に関すること。

### 3 今後の進め方

Town & Gown構想の推進に向けて、海洋・海事教育等に関する取組を進めていくため、呉市及び広島大学に加え、海上保安についての教育・研究機関である海上保安大学校並びに国際交流及び国際協力の推進を目的とする公益財団法人笹川平和財団にも参画いただき、7月を目途に、4者間で連携協定を締結します。

また、呉市、広島大学、関係機関等で構成する推進検討会及びワーキンググループを開催し、具体的な連携内容や取組内容の調整・決定をするとともに、今後、広島大学と、より緊密な連携体制を構築するため、Town & Gown構想推進に関する準備室の設置を検討していきます。

なお、現在、広島大学は、世界海事大学（WMU（※1））や国際海事法研究所（IMLI（※2））との連携について検討されています。こうした中で、本市における国際機関の教育・研究の拠点誘致について、広島大学と連携して取組を進めていきます。

#### 推進検討会メンバー

金子 慎治	広島大学理事・副学長
八田 和嗣	広島大学理事
陸田 秀実	広島大学先進理工系科学研究科教授
小山 勇治	海上保安大学校事務局長
角南 篤	笹川平和財団理事長
赤川 安正	呉市顧問
江田 頼宣	呉市副市長
倉員 申明	呉市企画部長

#### ※1 世界海事大学（WMU）

国際海事機関（IMO（※3））が昭和58年にスウェーデンのマルメ市に設立した世界の海事関係者の教育と訓練を行う教育・研究機関

#### ※2 国際海事法研究所（IMLI）

国際海事機関（IMO）が昭和63年にマルタ共和国に設立した海事・海洋法の教育・研究機関

#### ※3 国際海事機関（IMO）

船舶の安全及び船舶からの海洋汚染の防止等、海事問題に関する国際協力を促進するため、昭和33年に設立された国際連合の専門機関